

TAKEHARA ROTARY CLUB ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710
WEEKLY BULLETIN 竹原ロータリークラブ週報



会長	荒谷 隆文	副SAA	堀越 賢二
会長エレクト	木村 安伸	直前会長	下山 生修
副会長	夜船 正昭	管理運営	菅 義尚
幹事	久藤 孝仁	会員組織	本庄 純夫
副幹事	吉本きよ子	奉仕	土居 敏昭
会計	坂田 武文	広報	小坂 啓子
SAA	佐渡 文武	R財米山	藤中 保

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのために
なるかどうか

<事務局> 〒725-0026竹原市中央4丁目8-2第1おおぎビル102号
TEL 0846-22-7570 FAX 0846-22-7651 Email:rc-take@estate.ocn.ne.jp
URL:http://www5.ocn.ne.jp/~rc-take/
<例会場> 〒725-0021竹原市竹原町3591-1 大広苑 TEL 0846-22-2970
<例会日> 毎週木曜日 12:30~13:30 発行:クラブ広報委員会

本日のプログラム 3月21日	次週のプログラム 3月28日
地区協議会報告	会員研修セミナー報告 クラブアッセンブリー

2013年3月14日第2374回(委員会席)例会記録

□ソング: それでこそロータリー

スマイルボックス

- 会員誕生日 …佐々木、大成
□配偶者誕生日…佐々木
□無届欠席 …福本
□特別スマイル
- ・無事、事務所移転が出来ました。実行委員会の皆様大変ご苦勞様でした。(荒谷隆文)
 - ・事務局移転に伴って皆様にご迷惑をお掛けしました。以前に増して明るい一階の事務所ですので皆さん時間がありましたらお立ち寄り下さい。(久藤孝仁)
 - ・孫が筑波大学工学部物理学科に入学できました。(大森 寛)
 - ・今年の忠海高校同窓会の実行委員長を務めることになりました。竹原ロータリークラブ内の忠海高校卒業生の先輩の皆様、5月19日当日は是非ご出席下さい。開催場所は大広苑です。(朝比奈勝也)

クライニングボックス

- ・先日の引越しの手伝いが出来ず済みませんでした。(市川重雄)
- ・孫に東京理科大学物理学科30万円、同理学部30万円、広島大学後期入試受験料2万円、計62万捨てました。嬉しいクライニングです。(大森 寛)

幹事報告

幹事 久藤 孝仁

- ・尾道RC創立60周年お礼状
- ・竹原コーラス“そよ風”30周年記念コンサート
4/21(日)14:00 竹原市民館ホール
- ・事務所移転が終了しました。
- ・本日はホワイトデーですので女性会員の方に男性会員よりプレゼントをご用意しています。
- ・羅東扶輪社からのお土産を未だ受け取られていない方は、お持ち帰り下さい。

会長の時間

会長 荒谷 隆文

皆さん今日は、3月10日に尾道RCの創立60周年記念式典・祝宴に出席して参りました。記念講演会は13:30から、講師にテレビでお馴染みの阿川佐和子氏が招かれ一般の皆さんも交え、しまなみ交流館が満席で開催されました。開会の冒頭、ウエルカムアトラクションで映像コンテスト受賞作品の「5分間の尾道物語り」二作品が上映されました。次に会長挨拶があり、尾道RCの活動紹介、そして記念事業は、尾道市が計画をしている世界一のしまなみ海道サイクリングロード実現に協力する事業として、地元アンディクス社製の高級スポーツサイクル60台とヘルメット60個を尾道市へ寄贈され、市長への目録贈呈がありました。このあと、阿川氏の演題「聞く力」の講演があり15時に閉会となりました。記念式典・祝宴は16:15~19:00まで、尾道国際ホテルに於いて会員73名とご夫人15名、来賓に大之

木ガバナー、市長、スポンサークラブの広島RC会長、他関係のRC、LC、関係諸団体の出席で大変盛大に開催されました。

3月11日は当クラブの事務所移転日でした。移転日が東北大震災の日であり、そしてクラブ50周年節目の前年で、我々がクラブの復興を目指す中で何か縁を感じるものがあります。菅実行委員長及び当日御協力頂きました藤中・木村・夜船・佐々木・土居・三好会員、久藤幹事、重友事務局には大変寒い中ご苦勞様でございました。また市川会員にはお菓子の差し入れを有難うございました。

3月20日は地区協議会が開催されます。この目的は次期クラブ指導者が任期の為に準備を整え、クラブでの会長を中心にチームワークと意欲を高める為のものと云われておりますので、実りあるものにして頂きたいと思っております。

3月23日は会員合同研修セミナーが福山市で開催されます。今回初めての地区の企画です。新入会員の皆さんの為のロータリー学習の機会でございますので、小坂会員、福本会員どうぞ宜しくお願い致します。

終わりになりますが、3月3日会長エレクト研修セミナーに出席の木村エレクトには大変ご苦勞様でした。これから次年度理事、委員長の皆様とで次年度RI会長、地区ガバナーのテーマに沿って活動方針、計画立案をどうぞ宜しくお願い致します。

PETS報告



会長エレクト 木村 安伸
3月3日(日)ホテルグランヴィア
広島に於いて開催された会長エ
レクト研修セミナーに出席して
きました。

特にセミナーでは沖田ガバナー・エレクトの2013-14年度に懸ける意気込みが強く感じられるセミナーでした。以下その概要についてご報告申し上げます。

◇2013-14年度 RI会長 ロンド・バートン

◇RIテーマ

『Engage Rotary Change Lives』

『ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を』
※沖田ガバナー・エレクトが、このRIテーマには次のような意味も含まれているのではないかとと思うと説明されました。

「ロータリーを自分の中に、皆さん(当該ロータリアン自身)の人生(生き方)を変えなさい。」

◇RI会長強調事項(会長賞)

1. 会員増強の推進

必須項目：入会希望者を増やし、会員を維持することにより、7月1日から3月31日までの間に、会員を少なくとも1名純増させる。

2. ロータリー財団を通じた人道的奉仕の充実

必須項目：地元または海外で、少なくとも1つのロータリー重点分野に関連する奉仕プロジェクトに参加する。

・平和と紛争予防／紛争解決

・疾病予防と治療

・水と衛生

・母子の健康

・基本的教育と識字率向上

・経済と地域社会の発展

3. ロータリー・ファミリーを通じたネットワークの強化

必須項目：以下のいずれか、又は両方を達成する。

・全てのクラブ会員とその家族が参加する親睦活動または奉仕活動を少なくとも1回行なう。

・地元地域の奉仕プロジェクトにおいて、ロータリー以外の団体と協力する。

◇2710地区2013-14年度 ガバナー 沖田 哲義

1. ガバナー信条

奉仕活動を見直そう、「新しい奉仕活動への挑戦」

※沖田ガバナー・エレクトから、次の提案がありました。

『「奉仕活動を見直し、新しい奉仕活動に挑戦」することで、ロンド・バートンRI会長エレクトのチャレンジを、真正面から受けて立とうではありませんか。』

2. 運営の重点方針

(1) RIの奉仕活動とR財団の補助金活動(以下、両活動を総称して「ロータリー活動」という。)の一元化

ア 意識面と組織面

イ 従前のロータリー活動の分析と評価

ウ 望ましいロータリー活動の研究と提言

(2) 未来の夢計画の確実な実行

(3) 会員増強(併せて「SAKUJI作戦」の遂行)

(4) 各クラブ及び地区の情報のデータベース化の研究とソーシャルメディアの活用

(5) 地区大会を具体的なロータリー活動の研究発表の場とすること

(6) 職業奉仕の研究の深化と啓蒙

3. 目標

(1) 会員増強(純増1名)

(2) SAKUJI作戦の遂行

(3) RI会長賞への挑戦

3つのカテゴリー(前記強調事項)

(4) ロータリー財団支援

ア ポリオ・プラスへの支援 5ドル/人 以上

イ 年次基金寄付 150ドル/人 以上

ウ 恒久基金寄付 ベネファクター1人以上

エ ロータリーカードの協力 各クラブ担当者の決定

(5) 米山記念奨学会支援 16,000円/人 以上

(6) RI人頭分担金 53ドル/人

(7) 地区関係負担金 25,000円/人

(8) RI広報補助金の活用

◇地区内主要行事

(1) PETS&地区チーム研修セミナー

3月3日(日)ホテルグランヴィア広島

(2) 地区協議会

3月20日(水)広島国際会議場

(3) 地区指導者育成セミナー

8月25日(日)ホテルグランヴィア広島

- (4) 地区大会
10月5日(土)～7日(月) 下関市
- (5) RYLA ホスト：下関東RC
11月23日(土)～24日(日)下関市

◇海外関連主要行事

- (1) RI第3690地区大会 (姉妹地区)
4月19日(金)～20日(土)
- (2) RI国際大会 ポルトガル リスボン
6月23日(日)～26日(水)

◆今回のPETSで岡田次年度地区研修リーダーが、沖田ガバナー・エレクトは先走り過ぎる傾向がある人だと評していましたが、沖田ガバナー・エレクトは、次年度はロータリー財団の未来の夢計画がスタートするので、それに取り込むためにも地区ガバナー信条を昨年9月に発表した。

しかし、1月にRI会長エレクトロンD・パートン氏が発表したRIテーマも私のガバナー信条と殆ど同じであると感じたと述べられています。更に、夢計画の運用如何によっては、RIの奉仕活動自体が、将来的には革命的に変化する可能性がある。そこで自分は、従前の奉仕活動を見直し、RIの奉仕活動とロータリー財団の補助金活動を一体的（即ち、両者は切っても切り離せないこと）に捉えた上で、外に向かったの対外的な奉仕活動を、力強く且つ早急に前進させる必要があると思ひ、いち早くガバナー信条を定め、これに基づくガバナー指針を発表したものであると述べられています。

◆最後に、地区組織図の変更ですが、職業奉仕部会を奉仕プロジェクト委員会から切り離しロータリー情報部会を管轄する会員組織委員会へ編入され、委員会名も会員開発委員会と変更されました。その理由として、沖田ガバナー・エレクトは、R財団の夢計画の実施に伴って、RIの対外的奉仕活動が革命的に変化することが十分に予想され、そうすると将来、職業奉仕が軽んじられる可能性が出てくる。そこで、予め職業奉仕を対外的奉仕活動から分離しておいて、これを大事に守っていく必要が有ると思う。このようにして、RIの対外的奉仕活動がいかように変化しようとも、絶対に職業奉仕を強調する体制を整えておきたいとの思ひからであるとの説明でした。

RLI-2710分科会研修参加報告



副会長 夜船 正昭
3月10日(日)広島都市学園大学にて、朝10時から午後5時20分まで慌ただしくRLI2710分科会パート1研修が開催されました。これには私と久藤幹事が参加させて頂きました。

内容はRLIの学習効果は講演を聞くだけでなく、自分で考えて話すことが記憶に残りやすいという研究に基づき質問に答え、自分自身の考え方や意見を述べると云う研修方法です。ディシュカッションリーダーが進行役を務め、学習意欲を促進させ、

皆さんがロータリーの知識のみを一方的に学ぶのではなく、学び方を取得してモチベーションを高め自己啓発やリーダーシップの発揮に繋げていくことを目的とするそうであります。

全体会議のあと、参加会員がアトランダムに分かれて夫々の課題を研修して参りました。

リーダーシップの特徴、ロータリーの目的を話し合う、会員維持の重要性の確認、ロータリー財団の価値、米山奨学生の現状、CLPを踏まえた奉仕プロジェクトの計画と実施について等々でございます。限られた時間で分科会を駆け回り、あつという間の研修でした。

4月14日にはパート2、9月7日にはパート3と、今後夫々の課題を深く突き詰めて研修して行く予定です。あと二回の研修にエネルギーが持つか不安ですが、ハイブリッドカーのように低燃費で研修に挑んで参りたいと思います。

3分間スピーチ



会員 大森 寛
羅東訪問の続きのお土産話をとのことですが、本日は「日の丸」と「君が代」について私が思うことを喋らせて頂きます。

この中で海外旅行に何回も行かれた方が沢山あるかと思いますが、海外で「日の丸」を掲揚して国歌を歌ったことのある方は恐らくロータリアンだけだと思います。私も6年ぶりに台湾に参りまして、例会で日の丸が掲揚され、皆さんと一緒に君が代を歌いました。その時には日本人でよかったと改めて感じました。

毎月第一例会で何の気なしに、君が代を歌い、そして毎週例会で日の丸を掲げていますが、何の気なしに見ております。海外でそれを経験しますと、日本人で良かったと改めて思ったのは私だけではなかったのではないのでしょうか。

皆さんと一緒に君が代を唱和した時に、ここで歌う君が代より、非常に力強い声で皆さん唱和されてジーンとした気持ちになったのは私だけではなかったのではないのでしょうか。

羅東の例会へ出席して改めて「日の丸」「君が代」について思った感想をお話させて頂きまして、羅東のお土産話の後半戦はまたまた次回に。

本当に清々しい気持ちで例会に出席して参りました。有難うございました。

出席報告

総員 33名	出席 28名	メーク 1名
欠席 2名	免除 2名	出席率93.94%